

愛知登文会総会報告

第8回

平成30年6月20日発行

平成30年度総会

平成30年5月31日（木）開催

岡崎信用金庫（岡崎市伝馬通）にて、平成30年度総会を開催しました。あいにくの雨となりましたが、全プログラムを通し、のべ53名（事務局含む）の方にお越しいただきました。

総会

午後2時～3時

平成30年度総会は、正会員総数68名のうち45名出席（うち委任状28名）のもと、天野理事の開会の辞で始まりました。開催にあたり、岡崎信用金庫の皆様にご協力いただきました。ご来賓には、愛知県文化財保護室室長 中田勝徳様、室長補佐 洲崎和宏様、主査 近藤佳世様、岡崎市教育委員会教育部次長 小野綱二様、あいちヘリテージ協議会代表世話人 下會所豊様、なごや歴史まちづくりの会副理事長 石田和義様、副理事長 加藤昌之様、理事 原眞佐実様、大阪登文会会長 寺西興一様、さんとうぶん会長 大西武夫様、会計 竹田憲治様にご臨席を賜りました。議題ではいずれも原案通り異議なく承認されました。



岡崎信用金庫資料館にて記念撮影

会長挨拶

会長 小栗宏次

愛知登文会ができて8年目、私が長谷川前会長より会長を受け継いで2年目になります。これまで皆様にお助けいただいたことを改めて感謝いたします。岡崎信用金庫で総会を開催する念願がようやく叶いました。本日は数々の来賓の皆様にご出席いただいています。中でも愛知県とは会の設立当初より連携して活動しており、本会の誇れるべき点です。また、最初の登文会である大阪登文会、昨年設立した三重の登文会「さんとうぶん」から会長にお越しいただき、感謝するとともに仲間が増えていくことを嬉しく思います。本日、総会から懇親会までを通し、登録文化財の維持や活用について皆様とお話しできればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



外観（別日撮影）



総会の様子

- 1 開会の辞 / 2 会長挨拶 / 3 来賓祝辞 / 4 議長指名
- 5 議題

- 第1号議案 平成29年度事業報告
- 第2号議案 平成29年度決算報告及び会計監査報告
- 第3号議案 平成30年度役員について
- 第4号議案 平成30年度事業計画について
- 第5号議案 平成30年度予算について

- 6 表彰 / 7 閉会の辞 / 8 写真撮影 / 9 会場紹介・見学

昨年度に引き続き3度目となる表彰を行いました。今回は、尾関家住宅（尾関立志様）、旧湊屋（所有者：丹羽徳子様、管理者：湊屋俱樂部代表 大島八重子様）、知多岡田簡易郵便局（伊井基治様）の3件4名を表彰しました。

最後に、会場となった岡崎信用金庫資料館の館長貝吹様より、建物の歴史等についてご紹介いただきました。



尾関立志様



大島八重子様



伊井基治様



岡崎信用金庫資料館の紹介

登録文化財紹介

午後3時15分～4時20分

総会後には登録文化財紹介の時間を設けました。4つの登録文化財（尾関家住宅、旧湊屋、知多岡田簡易郵便局、県立高校門柱）について、それぞれの所有者・管理者の方からご紹介いただき、これまでの取り組みや保存への思いなどについて知る機会となりました。



尾関家住宅



旧湊屋



知多岡田簡易郵便局



県立高校門柱

善立寺見学会

午後4時30分～5時10分

登録有形文化財の善立寺を訪問しました。小幡住職のご案内のもと本堂内部を見学させていただき、天井装飾や棟札など貴重な史料を見させていただきました。



善立寺本堂の見学

懇親会

午後5時30分～7時

懇親会は、同市飲食店にて開催しました。33名の参加者が中華テーブルを囲んで親睦を深めました。



懇親会の様子

役員体制

*印は今年度新任した役員

理事長(会長)	小栗 宏次	(小栗家住宅主屋ほか)
副会長	天野 啓介	(大野宿鳳来館本館ほか)
事務局長	若山 宏	(名古屋テレビ塔)
理事	石川新太郎	(明治村・第八高等学校正門ほか)
"	柴田 正康	(柴田家住宅主屋)
"	筧 清澄	(筧家住宅主屋)
"	上野 正彦	(岡崎信用金庫資料館)
"	松平 實胤	(寂光院本堂ほか)
"	森川 信江	(森川家住宅主屋ほか)
"	三井 蓮孝*	(蓮教寺本堂ほか)
監事	佐滝 剛弘*	(京都光華女子大学教授)
"	佐藤 敏博	(佐藤会計事務所)
名誉会長	長谷川良夫	(犬山城下町を守る会会長)
相談役	瀬口 哲夫	(名古屋市立大学名誉教授)
"	杉野 丞	(愛知工業大学教授)
"	井澤 知且	(名古屋学院大学教授)
"	溝口 正人	(名古屋市立大学大学院教授)
"	西澤 泰彦	(名古屋大学大学院教授)
"	是澤 紀子	(日本女子大学准教授)
"	小川 芳範	(愛知県立一宮商業高等学校校長)
"	牧 謙治	(愛知県立一宮高等学校教頭)

平成30年度は、文化庁補助事業との連携により活動を実施するとともに、会独自の事業として情報発信や県外視察などを実施する予定です。皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

「文化芸術振興費補助金（文化遺産総合活用推進事業）」による事業

- ① 文化財ガイド育成事業（平成29年度より継続）
 - ・地域で活動する建築専門家を対象に文化財ガイドの方法に関する講習を4箇所で行う。
- ② 特別公開事業（平成26年度より継続）
 - ・登録文化財の公開や、所有者・専門家による建物解説を6地域50箇所以上で行う。
- ③ 登録文化財保存活用シンポジウム（平成29年度より継続）
 - ・保存活用にあたっての様々な課題を乗り越えるための専門的あるいは事例的な情報を提供し、意見交換を行うシンポジウムを4回開催する。
- ④ 登録有形文化財魅力紹介冊子（新規）
 - ・地域の文化財を網羅的に紹介するコンテンツのひとつとして、テーマ別に愛知県内の登録有形文化財を紹介する冊子を作成する。今年度は、産業に関わる登録有形文化財をとりあげる。

愛知登文会独自事業

- 愛知登文会の情報発信** —ホームページ・フェイスブックによる情報発信を行うとともに、愛知登文会ニュース第20号、第21号、第22号にて活動報告を行う。
- 県外視察** —県外の登録有形文化財や先進的取り組み等を視察する県外視察を企画・実施する。
- 表彰の実施** —第4回の表彰に向け、表彰者の選定を行う。
- 企画展共催** —4月19日（木）～5月6日（日）文化のみち榑木館にて、「なごや折り紙建築展」を開催した。